

第 66 回 宮崎県保育事業研究大会開催要綱

● 大会主題 ●

すべての人が
子どもと子育てに関わりを持つ社会の実現をめざして

1. 趣 旨

宮崎県保育事業研究大会は回を重ね、今年は第 66 回目を迎えます。

平成 27 年 4 月に子ども・子育て支援新制度が施行され、4 年目が過ぎようとしており、制度についての見直しが議論されているところです。また、国は待機児童対策を進める中、幼児教育・保育の無償化が決定され、その内容についての議論も進められています。

しかしながら、無償化により大都市等では更に待機児童が増える可能性もあり、その一方で過疎地域では子どもの減少により施設運営にも影響が出始めています。

また、保育士・保育教諭不足も一向にして売り手市場の状況で、行政間の財政格差から、都市部への保育士・保育教諭の流出、潜在保育士の復帰も上手く進んでおらず、全国で人材確保に大きな影響が出ています。

昨年度から『キャリアアップ制度』がスタートしました。県内では、県の委託、県保連でもキャリアアップ指定研修として実施しておりますが、今後も職員の質の向上と処遇改善には更なる仕組みの構築が必要です。

さらに、少子高齢化・地域格差は急激なスピードで進行しており、この社会変化の中で子どもたちの成育環境や保護者の子育て環境が変わる中、私たちに求められるニーズも多岐にわたってきております。この様な社会情勢の変化に対応するために、今年度、「保育所保育指針」・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が改定されました。

子どもたちや保護者と関わる私たちにとって「質の向上」は最重要課題です。宮崎県保育連盟連合会では、子どもの最善の利益の保証に向けた取り組みや保護者・地域の福祉ニーズに対応した事業をそれぞれの施設が実施できるよう、保育事業の研究を深め、養護と教育の実践の更なる向上を目指すことを目的として、本大会を開催いたします。

- 2. 主 催 一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会
- 3. 後 援 宮崎県・宮崎市・社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会（予定）
- 4. 期 日 平成 31 年 2 月 22 日（金）
- 5. 会 場 宮崎観光ホテル 宮崎市松山 1 丁目 1 番 1 号（TEL：0985-27-1212）

6. 費用

(1) 次の費用は参加者の負担といたします。

参加費(資料代)：会員施設・3,000円・非会員施設・5,000円

養成校職員：2,000円・学生：1,000円

昼食代：1,000円(お弁当・お茶付)

※ 記念講演のみ参加の場合でも、参加費用は同金額です。

(2) 提案者・助言者については参加費及び昼食代は免除します。なお、被表彰者及びその他の役員・係員については、参加費及び昼食代が必要となりますのでご注意ください。

7. 日程及び大会内容

(1) 日程

	9	10	30	11	12	13	14	15	16
2/22 (金)		受 付	式 典	記念講演	昼 食		分 科 会		

(2) 日程及び内容

9:00～10:00 受 付

10:00～10:30 式 典

10:30～12:00 記念講演

演 題：「学びを支える保育環境づくり」

講 師：東洋大学 ライフデザイン学部 准教授

(ライフデザイン学部 生活支援学科 子ども支援学専攻)

高山 静子(たかやま しずこ)氏

✿ プロフィール ✿

子育て中に保育士の資格をとり保育士に転職。保育士を退職後、福岡市で保護者とともに地域の子育て支援活動を行う。平成20年より保育者の養成と研究に専念し平成25年4月より現職。九州大学大学院人間環境学府で教育学(博士)を修得。研究テーマは、保育者の専門性とその獲得過程。保育者と養成校教員を対象としたブログ「保育の専門性を高めるページ」で情報を発信中。

12:00～13:00 昼 食

13:00～16:00 分科会

8. 分科会テーマ及び研究課題

「全国保育協議会の将来ビジョン」の構成にそって、本大会の分科会テーマを設定していますが、九保大会へ進む分科会（第2・第3・第4）と特別分科会（給食部）の4つの分科会で開催します。

◆ 分科会の方法について

座長を中心に分科会のスタイルに合わせたタイムスケジュールにて開催いたします。

【 カテゴリー1 】 子どもの育ちを保障する

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が自ら持っている発達する力を活かし、側面的に支援することをおして、その子どもの発達を保障することにあります。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深め、また、その保育を実践する人材の育成、研修の充実に取り組みます。

第1 分科会（九州・全国大会では第2分科会）

配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて

保育所・認定こども園等では、発達障害など配慮を必要とする子どもの増加が指摘されています。また保護者自身が生活面などにおいて、何らかの課題をもち、子育てに困難が生じるケースも増えています。多様なニーズを抱えた子どもとその保護者を理解し、保育の専門性を活かした適切な支援を行うことは、保育所・認定こども園等の大きな役割の一つです。

本テーマでは、インクルーシブ保育の視点から、障害の有無に関わらず、配慮を要する子どもを含めたすべての子どもを、分け隔てなく一緒に保育し、すべての子どもや保護者に対する保育・子育て支援関係者としていかに寄り添い、かかわり、あるいは保育者として、支援をおこなうべきかについて、研究を深めます。

■ 担 当 部 ： 保育士部

■ 意見発表者 ： 延岡市

■ " 五ヶ瀬町

■ 助 言 者 ： 黒木 康子 氏

（スペシャルサポート教室 mocomoco 代表 発育セラピスト）

【 カテゴリー1 】 子どもの育ちを保障する

保育所・認定こども園等の大きな役割は、子ども自身が自ら持っている発達する力を活かし、側面的に支援することをおして、その子どもの発達を保障することにあります。子どもの発達支援を中心に据えた保育を展開するために、質の高い保育について研究を深め、また、その保育を実践する人材の育成、研修の充実に取り組みます。

第 2 分科会 (九州・全国大会では第 3 分科会)

保育者の資質向上を図る

保育所・認定こども園等における今日的状況として、職員の就業形態や雇用形態の多様化の進展があげられます。そのため、職員間の連携、チームワークの形成や、職場全体としてのスキルアップに一層留意する必要があります。

また、「保育士等の処遇改善」と関連して、保育士の技能・経験に着目したキャリアアップの仕組みが示され、さらなる人材育成への取り組みが求められます。

本テーマでは、より多くの保育ニーズに応えるため、内外の研修受講や情報共有のあり方、保育者の自己評価など、職員の資質向上にむけた効果的・具体的な実践とともに、今後、保育者自身にもとめられる資質向上のあり方について研究を深めます。

■ 担 当 部 : 保育士部

■ 意見発表者 : 三股町主任保育士部会

■ // 宮崎市

■ 助 言 者 : 牧野 多津子 氏 (延岡市 なかしま保育園 園長)

【 カテゴリー2 】 子育てライフを支援する

子どもが心身ともに豊かに成長するためには、子どもと家庭を一体的に捉えて、その家庭を支援することが必要です。保育所・認定こども園等は、多様化する働き方と子育て家庭のニーズに応えるための機能を充実し、子育て支援の拠点として、すべての子育て家庭を対象とした支援を展開します。

第 3 分科会 (九州・全国大会では第 4 分科会)

地域の子育て家庭への支援の充実にむけて

平成 30 年施行に向け、平成 27 年から保育所保育指針の改定に関する議論が進められました。保育所保育指針においては、保育所の役割として、保護者に対する支援と地域における子育て支援が明確に位置づけられています。また、幼保連携型認定こども園は、地域の子どもやその保護者が相互の交流を行う場所を開設したり、保護者からの相談に応じたり、必要な情報の提供や助言、その他必要な援助を行うことが義務づけられています。

また、地域のつながりが弱まるなか、子育てに孤立感や孤独感を深めている家庭へのアプローチが、とくに重要です。

本テーマでは、地域子育て支援における保育所・認定こども園等の機能や、保育者に求められる知識や技術を、いかに地域支援に活かしていくかなど、地域の子育て家庭に対する支援のあり方について、研究を深めます。

■ 担 当 部 : 保育士部

■ 意見発表者 : 宮崎市

■ // 都城市 (法人)

■ 助 言 者 : 小澤 のり子 氏 (おやこの森 施設長)

【特別分科会】「家庭や地域との連携による食育の推進」

乳幼児期の食育の推進は、「食べる」ことや「いのち」への関心、さらに適切な食習慣の形成において大変重要です。また、食に関する家庭との相互理解、さらには地域子育て家庭にむけた食育実践や地域の食文化継承などの視点から、保育所・認定こども園等のみならず、家庭や地域との連携のもとで実践を進めることが必要です。

一方、保育現場では、自園調理の意義や有用性の確立ならびに、食物アレルギーをもつ子どもへの対応等も大きな課題となっています。

本テーマでは、保育所・認定こども園等での食事を通して、「食を営む力」の基礎を培うことができるよう、保護者、家庭や地域と連携した食育の実践、食物アレルギーへの対応、食をとおした保育実践のあり方などについて研究を深めます。

■ 担 当 部 : 給食部

■ 意見発表者 : 日向市
国富町

■ 助 言 者 : 田上 敬子 氏 (元南九州大学教授 管理栄養士)
及び講演 講演 『食育を通じた保護者とのコミュニケーション』

9. 参加者の範囲

(1) 宮崎県保育連盟連合会会員施設長が次の範囲から推薦した者

- ① 保育園(所)・認定こども園の設置者・施設長及び職員
- ② 小規模保育所・児童館の施設長及び職員
- ③ 保護者 等

(2) 県・市町村の保育行政関係職員

(3) 保育士養成校の職員及び学生 等

10. 顕 彰

顕彰は、顕彰規程に基づき、宮崎県保育連盟連合会理事長が式典において行います。

各施設長は、別添推薦書を平成 31 年 1 月 25 日 (金) までに大会事務局に提出してください。(推薦者印が必要です。郵送でお願いします。FAX 不可)

なお、表彰決定通知書は被表彰者所属施設にお送りいたしますので、ご了承ください。

11. 参加申込み

(1) 参加申し込みにあたっては、FAX または郵送にて下記『名鉄観光サービス(株) 宮崎支店』宛てにお申し込みください。

※ 役員(発表者含む)・係員においても参加申込みが必要となります。

《参加申込書送付先》

名鉄観光サービス(株) 宮崎支店 (担当: 安達・谷口)
〒 880-0001 宮崎市橘通西 2 丁目 4 番 20 号 アクサ宮崎ビル
TEL : 0985-26-1414 ・ FAX : 0985-20-7355

*** 申込締切 第一次 平成 31 年 1 月 31 日 (木)**
第二次 平成 31 年 2 月 14 日 (木)

(2) 参加申込書を提出された方で、平成 31 年 2 月 14 日 (木) 以後に参加を取り消される方の参加費等については、徴収させていただきます。

なお、資料は後日、事務局より大会資料を送付させていただきます。キャンセルの場合は、トラブルの原因となりますので FAX にてお知らせください。

(3) 参加申込をいただいた保育園 (所) 長あてに、名鉄観光サービスより後日申込受付承諾の FAX を送付いたします。ご確認のうえ、必ず参加者にお伝えください。

*** 県保大会では、参加券等の発行はございません。**

(4) 昼食希望の方は申込書により予め注文してください。なお、研修当日のキャンセル等変更はできませんのでご了承ください。(弁当 : 1,000 円)

弁当代について、何らかの事情で振込みができない方は当日お支払いください。

(5) 参加費等につきましては、平成 31 年 2 月 14 日 (木) までに下記の口座へ別添の振込用紙にてご送金ください。

※ 銀行振込控をもって領収とさせていただきます。

※ 別途領収書の必要な場合は申込書の備考欄にご記入ください。当日お渡しします。

※ 振込手数料は各自ご負担となりますので、ご了承ください。

金融機関名 : 宮崎銀行 宮崎支店
預金種別 : 普通預金
口座番号 : 1575568
口座名義 : 名鉄観光サービス株式会社 宮崎支店

● 振込用紙記入について

* ご依頼人は、施設名と市町村名をご記入ください。

(例 ○○保育園 宮崎市)

12. その他

● ポスター発表申込みの方は、募集要領に従って準備してください。

● 駐車場が大変混み合います。車を利用される方は、大会会場にはできる限り相乗りでお越しいただく等、ご協力をお願い申し上げます。

13. 事務局

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会

〒880-0007 宮崎市原町 2-22 宮崎県福祉総合センター内

TEL : 0985-28-5835 ・ FAX : 0985-28-5989

E-mail : office@m-hoiku.or.jp